**A I を搭載した英会話アプリ調達業務（A I の活用による英語教育強化事業）
公募型プロポーザル選定委員会（第 2 回） 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 6 月 6 日（金） 13 時 00 分から 16 時 00 分まで
2	場 所	Zoom 利用による Web 会議形式
3	出席委員	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部義務教育指導課長 広島県教育委員会事務局管理部秘書広報室長 広島県総務局 D X 推進課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部学校経営課長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課長
4	議 題	プレゼンテーション審査
5	担当部署	教育委員会事務局学びの変革推進部義務教育指導課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果 (1) 審査対象者 A 社：HelloWorld 株式会社 B 社：ELSA Japan 合同会社 C 社：株式会社 HandsOn AI D 社：ジョイズ株式会社 (2) 審査対象者の評価値 審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり (3) 最優秀提案者 HelloWorld 株式会社（A 社）</p> <p>3 各委員の主な評価・選定理由 (1) A 社 ・ アプリの提案に限らず、国の事業内容も踏まえた支援や成果検証の具体的な提案内容である。 ・ 生徒の発話に対する評価について、A I の評価だけでなく、教師が評価を修正することも可能であるため、より「指導と評価の一体化」が図られる。 ・ 独自提案のプレゼン練習機能やオンライン国際交流は、生徒の英語による言語活動の充実や意欲の向上に効果的であると考える。</p>

- ・ 豊富な導入実績がある点が評価できる。
- ・ アクティビティログで学習状況を把握できる点や日常の授業と連動させた活用ができる点が評価できる。

(2) B社

- ・ 正しい発音について、音素レベルで識別できるため、より良い発音ができるよう学校の授業や教師によるフィードバックの場面で指導することが可能になる点が評価できる。
- ・ 同じアプリを使用している学校が、独自のプラットフォームを活用して指導案等を共有できることが評価できる。
- ・ 外部の第三者機関による年次監査など、客観的なセキュリティ水準の維持がされている。
- ・ 音素レベルの高精度のフィードバックがあることは、スピーキング力の向上に効果があると考ええる一方、英語が苦手な生徒によっては逆効果となることも危惧される。
- ・ ユーザーインターフェースについて、学生が使うことを想定したときに、ユーザーフレンドリーではないような印象を受けた。

(3) C社

- ・ 日本語でトピックを理解して英語学習につなげる取組は、学習の効率化につながることを期待できる。
- ・ アプリの授業等での活用イメージについて3ステップで整理されている点や、評価の機能で対話・発音までの状況をタイムリーにフィードバックできる点が評価できる。
- ・ 学校へはテスト導入のみとのことであり、活用実績が十分でない。
- ・ 現状のアプリの機能に係る質問に対して、今後要望があれば更新していくという回答があり、現時点のアプリ等の精度に不安がある。
- ・ セキュリティに関して、クラウド上の環境が認証を受けているのかどうかといったところについての記載がなかったり、個人情報セキュリティの安全管理に関する従事者の役割・責任等の記載がなかったりするなど、セキュリティ側の体制に不安があるような印象を受けた。

(4) D社

- ・ パターンプラクティスについては、丁寧なフィードバックがある点については、評価できる。
- ・ AIアプリの活用について、実現イメージやサービスの特徴が整理されており、特に授業とつなげてどのような活用の仕方ができるのか理解できた。
- ・ AIフリートークに安全性が保持されている点は、評価できる。

		<ul style="list-style-type: none">• AIフリートークについては、会話テーマも限定されており、柔軟に設定できず、フィードバックも総合評価のみであるため、やり取りの言語活動への活用はあまり見込めないと考える。• AIフリートークに分析・評価がない点について、評価できない。
--	--	---